





## 日本大学生産工学部土木工学科【総合型選抜第1期】募集・選抜の概要

『実学および協学を通じた学び合い』を重視する土木工学科では、総合型選抜において本学科アドミッション・ポリシーに共感し、多様な経験を通じた気づき、資質・能力を有する皆さんの志願を心より歓迎します。以下に総合型選抜第1期の募集・選抜要領、裏面に評価基準を開示しますので、ご確認のうえ、必要書類等をご準備ください。

### ● 募集要領

出願要件、募集人員および各期間・日程は、下表のとおりです。詳細は、本学部入試センターより配布される「募集要項」をご確認願います。

出願要件	本学科を第一志望とし、アドミッション・ポリシーを深く理解したうえで、下記期間に出願書類を提出できる者。 ※オープンキャンパス6月・7月・8月では体験学習や模擬授業のほか、総合型選抜、その他選抜に関する個別相談ブースを設置しています。 ※オープンキャンパス、各募集・選抜の詳細は「入試情報ページ ( <a href="https://www.cit.nihon-u.ac.jp/admission/">https://www.cit.nihon-u.ac.jp/admission/</a> )」をご確認願います。	 資料請求
募集人員	21名	
願書請求・課題公開期間 <u>フォローアップ期間</u>	<b>7月14（金）～10月6日（金）</b> （課題フォローアップ期間：8月22日（火）～9月22日（金）） ※各種案内・要項・願書等は「資料請求サイト ( <a href="https://formserv.jp/40661/1">https://formserv.jp/40661/1</a> )」からご請求願います。 ※課題公開期間では、学校見学を歓迎し、皆さんの疑問や質問に教員が直接対応する【土木工学科総合型選抜質問・相談窓口】を開設します。 ※課題フォローアップ期間では、出願・提出前に課題②に対するプレ評価およびアドバイスを教員から個別にフィードバックします。	 土木工学科 総合型選抜 特設ページ
出願期間	10月6日（金）～10月13日（金） 郵送必着 ※出願時の提出書類は「出願確認票」「出身学校調査書等」「志望理由書」「資格・受賞歴等一覧表（資格・受賞歴等がある場合のみ）」「課題①・②」 ※志望理由書は「 <a href="https://www.cit.nihon-u.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2021/09/R4-1_20210906_01.pdf">https://www.cit.nihon-u.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2021/09/R4-1_20210906_01.pdf</a> 」の書式をご利用願います。	
試験日	10月21日（土） ◎基礎学力検査（英語・数学） ◎課題（面接時の口頭試問を含む） ◎面接（2名の面接者により評価）	
合格発表日	11月1日（水） ※選抜結果は個別に「マイページ」からお知らせいたします。	

※課題に関するご質問・ご相談は【土木工学科総合型選抜質問・相談窓口（mail：cit.civil-sogo@nihon-u.ac.jp）】、学校見学、募集・選抜の全般、お手続き等に関するご質問は入試センター（電話：047-474-2246）または生産工学部お問い合わせフォーム（<https://www.cit.nihon-u.ac.jp/contact/form/>）まで、お気軽にお問い合わせください。

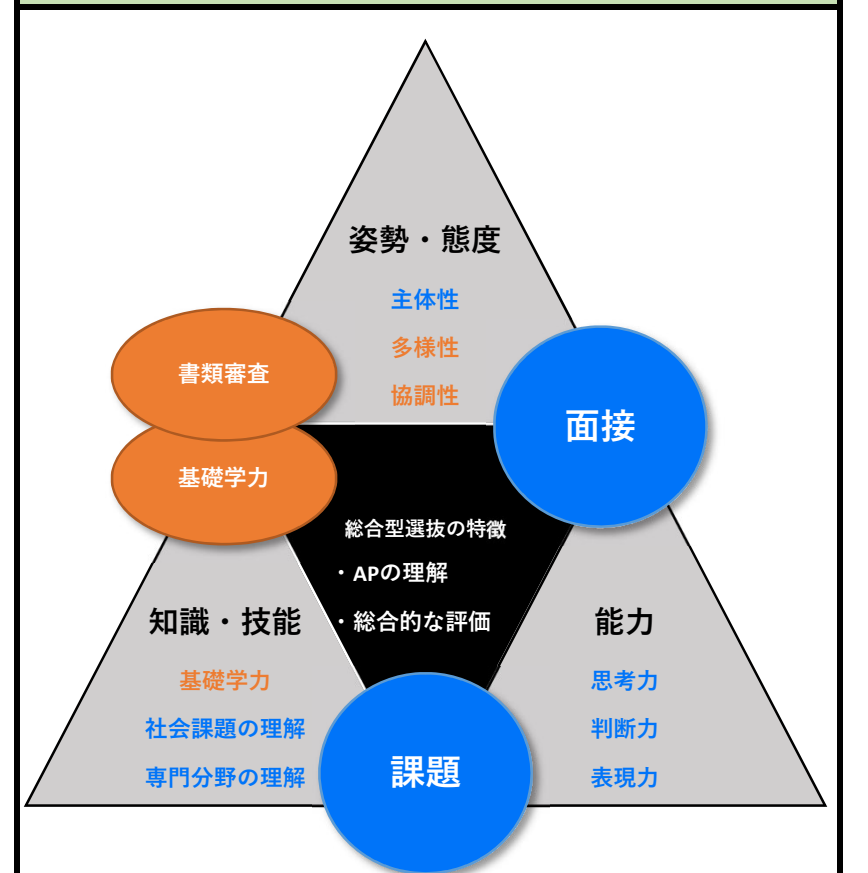
### ● 選抜要領

各選考項目に対する評価項目・方法および配点は下表、右図のとおりです。

選考項目	評価方法	配点
書類審査	出身学校調査書等に記載される各項目、各実績などに関して総合的に評価します。	100点
基礎学力検査	英語と数学の基礎学力を各100点、計200点で評価します。（検査時間計120分）	200点
課題	課題①・②及び面接時の課題に対する口頭試問と合わせて計100点で評価します。	100点
面接	本学科及び土木分野に関する理解度、学びに向かう態度、主体性を評価します。	100点

### 【土木工学科のアドミッション・ポリシー（AP）】

- 豊かな知識・教養を身につけて高い倫理観をもって、土木工学により社会（日本・国際社会）に貢献することを目標とし、その目標に向かって自ら継続的に学修する意欲をもつ人。
- 問題発見及びその解決のために、必要な情報を収集・分析し、自らの思考力をもって、自らの考えをまとめ、表現しようと努力する人。
- グループやチームでの活動をとおして自己を高め、さらに挑戦することや振り返ることの必要性を理解した上で、経営や生産管理ができる技術者になろうとする人。



総合型選抜第1期の選考・評価項目

総合型選抜第1期においては、書類審査、基礎学力検査（英語・数学）、面接および課題（面接時の口頭試問を含む）により、裏面の基準に基づいて、アドミッション・ポリシーの理解度、「知識・技能」「能力」「姿勢・態度」の3要素を総合的に評価・判定します。

《総合型選抜第1期の評価項目・基準》

●面接に対する評価項目・基準（志望理由、自己PR、高校における取り組み、将来展望などの質疑応答を通じて）

評価項目				評価基準				
関連するアドミッション・ポリシー		評価・選考項目		A：非常に優れている	B：優れている	C：普通	D：もう少し	
1	豊かな知識・教養を身につけて高い倫理観をもって、土木工学により社会(日本社会・国際社会)に貢献することを目標とし、その目標に向かって自ら継続的に学修する意欲をもつ人。	姿勢・態度	主体性	面接（並びに書類審査）	自ら明確な目標を設定して、その達成に計画的に取り組み、 <b>振り返りによる気づき</b> を得て、 <b>次の目標や経験に活かした経験</b> がある	自ら明確な目標を設定して、その達成に計画的に取り組み、 <b>振り返りによる気づき</b> を得た経験がある	自ら明確な目標を設定して、その達成に <b>計画的</b> に取り組んだ経験がある	自ら明確な目標を設定して、その達成に <b>計画的</b> に取り組んだ経験が乏しい
			多様性 協調性		グループやチームの一員として <b>自身の立場や役割に基づき、互いの特性を活かしながら積極的に協働した経験</b> がある	グループやチームの一員として <b>自身の立場や役割に基づき、積極的に協働した経験</b> がある	グループやチームの一員として <b>積極的に協働した経験</b> がある	グループやチームの一員として <b>協働した経験</b> が乏しい
2	問題発見及びその解決のために、必要な情報を収集・分析し、自らの思考力をもって、自らの考えをまとめ、表現しようと努力する人。	能力	志望動機及び意欲	面接	土木分野（土木構造物、土木技術者）の <b>社会的役割に関する理解</b> があり、その <b>現状と問題を認識</b> したうえで、将来、 <b>在るべき姿を展望</b> している	土木分野（土木構造物、土木技術者）の <b>社会的役割に関する理解</b> があり、その <b>現状と問題を認識</b> している	土木分野（土木構造物、土木技術者）の <b>社会的役割に関する理解</b> がある	土木分野（土木構造物、土木技術者）の <b>社会的役割に関する理解</b> が乏しい
			コミュニケーション能力		自身の意見や考えを <b>相手の意見や考えを踏まえて、場面に応じた適切な用語や文脈を選択し、分かりやすく伝えようとする工夫</b> がある	自身の意見や考えを <b>相手の意見や考えを踏まえて、分かりやすく伝えようとする工夫</b> がある	自身の意見や考えを <b>分かりやすく伝えようとする工夫</b> がある	自身の意見や考えを <b>伝えようとする工夫</b> が乏しい

●課題及び口頭試問に対する評価項目・基準（課題①・②に対する答案を通じて）

評価項目				評価の観点と基準								
				【考え(Ideas)】 得られた知識や情報、経験などを自身の考えに集約・反映し、それらを蓄積することができるか			【つながり(Connections)】 得られた知識や情報、経験などを比較・分類しながら、それらに関連付け、統合して、活用することができるか			【広がり(Extensions)】 得られた知識や情報、経験などを結集・駆使しながら、新たな問題発見・解決の探求に取り組むことができるか		
関連するアドミッション・ポリシー		評価・選考項目		レベル3	レベル2	レベル1	レベル3	レベル2	レベル1	レベル3	レベル2	レベル1
1	豊かな知識・教養を身につけて高い倫理観をもって、土木工学により社会(日本社会・国際社会)に貢献することを目標とし、その目標に向かって自ら継続的に学修する意欲をもつ人。	姿勢・態度	主体性	課題①	必要な知識や情報を <b>独自の視点で収集し、それらを客観的に整理しながら、自身の経験や考えを深めること</b> ができています	得られた知識や情報を <b>比較・分類し、それらに関連付け、統合しながら、自身の経験や考えに重ねること</b> ができています	得られた知識や情報を <b>目標達成のために活用し、新たな問題発見・解決の探求に取り組むこと</b> ができています					
			能力		表判断 思考力 力	必要な知識や情報を <b>目的に沿って収集し、それらを多面的に分析・考察しながら、現状と問題を理解すること</b> ができています	得られた知識や情報を <b>目的に沿って関連づけ、それらを複眼的に比較検討しながら、現状と問題の理解を深めること</b> ができています	得られた知識や情報を <b>目的に沿って結集し、発展的に探索しながら、現状と問題を的確に説明すること</b> ができています				
2	問題発見及びその解決のために、必要な情報を収集・分析し、自らの思考力をもって、自らの考えをまとめ、表現しようと努力する人。	知識・技能	専門分野 課題の理解	課題②及び口頭試問	必要な知識や情報を <b>目的に沿って収集し、それらを整理・蓄積しながら、理解を深めること</b> ができています	得られた知識や情報を <b>目的に沿って関連づけ、それらを比較・分類・統合しながら、理解を重ねること</b> ができています	得られた知識や情報を <b>目的に沿って結集し、新たな問題を発見し、解決策を提案すること</b> ができています					
			評価レベル		レベル3	新たな問題の解決に、知識や情報、経験等を応用できる	レベル2	知識や情報、経験等に基づいて、重要な概念・方法などの意味を理解・解釈できる	レベル1	知識や情報、経験等を記憶から思い出す、認識することができる		